

複数分野専攻制 (MS)

国連・外交 プログラム



将来、国際機関や外交・国際協力等、世界の公共の場で活躍するリーダーを目指す学生のためのプログラムです。学部での学びと並行し、国連・外交に関する科目や国際ボランティア等の海外派遣プログラムの履修を通じて、グローバル社会で貢献する力を養うカリキュラム構成です。

複数分野専攻制***MS (Multidisciplinary Studies)

所属学部以外の学部やセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を養う制度。

プログラムのポイント

全学部の学生がチャレンジできるプログラム
「国連・外交プログラム」への応募は全学部、どのキャンパスに所属する学生でも可能です。

ゼミ形式の科目「国連・外交入門」
国連・外交プログラム履修生のみが履修できる入門2科目を通して、国連・外交に関する基礎知識をしっかりと身につけます。

少人数で密度の高いプログラム
学生と教員の距離も近く、意識の高い学生同士、切磋琢磨できる環境作りを目指しています。

教員によるメンター制度
プログラム開始時から教員が各学生のメンターとなり、個別にコーチング。関心分野の学びやキャリア設計等についてアドバイスします。

国連・外交の分野で活躍してきた教員陣
国連職員や外交官、JICA職員等国際公共の第一線でキャリアを重ねた実務家教員が中心となり、プログラムを構成しています。

海外派遣プログラムと結びついたカリキュラム
学内の国際ボランティアや国連セミナー等のプログラムと有機的に連携し、実践力も養えるカリキュラムです。

キャリアサポート

関西学院大学では、学部プログラムから国連職員等になるまでのキャリア支援を一貫して提供しています。



カリキュラム



32単位
修得

- 派遣前導入科目
- 実践科目
- 派遣後応用科目

※詳細は裏面に記載

募集内容

履修申込は学部1学年次秋学期と学部2学年次春学期の2回のみ。学部2学年次秋学期以降は申込みできません。

申込時期	第1期 (学部1学年次11月)	第2期 (学部2学年次5月)
許可者発表	例年1月	例年7月
プログラム開始	学部2学年次春学期	学部2学年次秋学期
定員	30名	
申込方法	オンライン [kwic]キャビネット>教務機構>複数分野専攻制(MS)	
選考形態	書類選考 (「複数分野専攻願」、成績、英語能力を証明する書類)	

※詳細は入学時に配布される冊子「複数分野専攻制への扉」を参照ください。

※募集内容は変更されることがあります。

※募集説明会を各学期に実施します。日程等は、kwicのお知らせを確認ください。

国連・外交プログラムについて

カリキュラム 派遣前導入科目、実践科目、派遣後履修科目、学部関連科目、自由選択科目から32単位を修得することで修了証が授与されます。

派遣前導入科目

国際ボランティアなどの海外派遣プログラムに向けた準備科目

科目の例

- ・国連・外交入門（開発）
- ・国連・外交入門（平和・人権・人道）
- ・グローバルゼミA
- ・国際情報分析

実践科目

海外での現場実践経験を積み、国際社会で貢献するために必要な力を養う

科目の例

- ・国連・外交フィールドワーク
- ・国連ユースボランティア
- ・国際社会貢献活動
- ・国連セミナー

派遣後応用科目

実践経験をベースに、国際公共分野で働くために必要な能力、キャリアパス、準備方法等を学ぶ

科目の例

- ・SDGs実践特別演習
- ・グローバルキャリア開発演習
- ・国連・外交リサーチプロジェクト

※カリキュラムの内容は変更されることがあります

合計
32単位修得

+

学部関連科目
自由選択科目

Check!

国連・外交入門

国連・外交に特化したゼミ形式の導入科目。開発および平和・人権・人道に関する知識をディスカッションやプレゼンテーションを通じて学びます。「国連・外交プログラム」のコアとなる重要な科目です。

- ・春学期：「国連・外交入門（開発）」
- ・秋学期：「国連・外交入門（平和・人権・人道）」

国連・外交フィールドワーク

ネパール等開発途上国の国際機関や二国間援助機関、農村部などを訪問し、仮説検証型のフィールド・リサーチを行います。国際協力や開発援助の現場における各機関の役割や連携について理解を深める科目です。



国連セミナー

ニューヨークの国連本部を訪問し、現役国連職員や外交官等による講義・ディスカッションを通じて、国際社会の諸問題に対する国連や国連加盟国、NGOの取り組みや役割について、また当該分野のキャリア構築について理解を深めます。



国際機関で働くために必要なことは？

学位

大学院の修士課程を修了して、応募するポストと関連する修士号以上の学歴を有すること

語学力

英語または仏語で職務遂行が可能であること

職務経験

応募するポストと関連する一定期間の職務経験を有すること

履修学生の声



亀井 万里羽さん
法学部（4年）

関西学院大学ならではの国際関係のカリキュラムが凝縮された本プログラムを通じ、学部・学年を超えて志ある仲間に出会いました。高校時代に参加した関西学院明石塾から現在まで一貫して教授陣や事務室の温かなサポートを受けて学びを深めています。国連・外交の基礎を学ぶ「国連・外交入門」や国際機関等でのキャリア展望について考える「グローバルキャリア開発演習」を履修後には、国連ユースボランティア生として、国連ボランティア計画ラオス事務所にて広報担当補佐を経験しました。授業での学びを生かし、ボランティアリズムを通じた国連の平和と開発への貢献を現場で経験できた5カ月間は生涯の財産です。



安達 侑希さん
総合政策学部（卒業）

本プログラムの主要科目はプログラム生限定の少人数構成となっており、授業は履修生と国連機関等で実務経験を積まれた教員との距離が近く活発な議論が行われ、多くの学びを得ることができます。また、同期の仲間たちも積極的に国際ボランティアプログラム等に挑戦しており、国際協力の現場について議論を交わす機会が多く、これが更に視野を広げる刺激となりました。本プログラムでは、学部の講義では得られない貴重な経験を体系的に積むことができるだけでなく、同じ志を持つ仲間たちとの刺激的な学び合いを通じて、さらなる成長を目指すことができたと感じました。

主な教員の紹介



西野 桂子
元国連児童基金(UNICEF)
人事部担当官

関西学院大学 特別任期制教授
国連・外交統括センター副長
国際機関人事センター長



村田 俊一
元アジア太平洋経済社会委員会
(UNESCAP)事務局長次長
元国連開発計画(UNDP)駐日代表
関西学院大学 特別任期制教授
国連・外交統括センター長



三輪 敦子
元国連女性開発基金(現UNWomen)
アジア太平洋地域バンコク事務所
プログラム担当官
関西学院大学 総合政策学部教授

MESSAGE

国際的に活躍するには、国際的に通用する知識とセンスが必要です。国連・外交プログラムを通じて、国際機関や外交分野で働くための基礎知識だけでなく、グローバルなキャリアに必要なトランスファラブル・スキルや考え方が自然に身に着くように私たちが指導していきます。プログラム生だけが履修できる授業やメンター制度などを最大限に活用して、学部に関わらず世界に通用する未来にチャレンジしてください。



清水 康子
元国連難民高等弁務官事務所
(UNHCR)インド・モルジブ
事務所代表
関西学院大学 総合政策学部教授



国際ボランティア担当教員
關谷 武司
関西学院大学 国際学部教授



道券 康充
元国連開発計画(UNDP)
アフガニスタン事務所
プログラムデザインチームリーダー
関西学院大学 総合政策学部教授



関西学院大学 国連・外交統括センター
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

